

## 日本中世英語英文学会西支部例会の記録

第1回西支部例会（1985年5月3日、関西大学）

### 研究発表

1. 鈴木重樹：古英語弱変化動詞の史的展開  
司会 松下知紀
2. 中尾佳行：チョーサーの *of-phrase* 再考  
司会 真鍋和瑞
3. 石原田正廣：Paston Letters の書き誤りと口語的発音  
司会 真鍋和瑞
4. 宮川朝子：中世道徳劇における生と死 *The Castle of Perseverance* をめぐって

て

司会 藤井健夫

第2回西支部例会（1986年4月29日、広島大学）

### 研究発表

1. 高橋 久：Havelok 写本とゼロ代名詞  
司会 齋藤 勇
2. 関本榮一：ダンバーの恋愛詩にみられる女性像  
司会 齋藤 勇
3. 黒瀬 保：運命の女神の分裂症状  
司会 齋藤 勇

### シンポジウム

1. 中期英語へのアプローチ  
司会 米倉 綽  
講師 松下知紀  
講師 田辺春美  
講師 松本博之

第3回西支部例会（1987年4月29日、同志社大学）

### 研究発表

1. 隈元貞広（熊本大学）：Chaucer の *The Book of the Duchess* の語彙 Blanche 夫人の描写に関して

司会 須藤 淳

2. 鈴木重樹（山口大学）：コンピュータの指摘する後期古期英語散文の文体的特徴

司会 高橋 久

3 . 齊藤俊雄・今井光規 (大阪大学): 中英語韻文ロマンスのコンコーダンス  
編纂について

司会 高橋 久

#### シンポジウム

1 . *Sir Gawain and the Green Knight* の登場人物へのアプローチ

司会 水鳥喜喬

講師 田口まゆみ (高知大学非常勤)

講師 横山茂樹 (京都産業大学)

講師 菊池清明 (愛媛大学)

第4回西支部例会 (1988年4月24日、大手前女子大学)

#### 研究発表

1 . 渡辺秀樹 (大阪大学): 『ベオウルフ』における動詞 *scriðan* の意味と効果

司会 久保内端郎

2 . 篠田義博 (広島女学院大学): *Cursor Mundi* (Cotton Vespasian A iii) にみられる類義表現について

司会 三浦常司

3 . 吉村耕治 (関西外国語短期大学): *Troilus and Criseyde* における色彩表現

司会 三浦常司

#### 特別講演

1 . 毛利可信 (大手前女子大学): バースの女房の星まわり

司会 水鳥喜喬

2 . Ralph Warren Victor Elliott (The Australian National University): *Landscape and Language in Middle English Alliterative Poetry*

司会 水鳥喜喬

第5回西支部例会 (1989年5月6日、神戸市外国語大学)

#### 研究発表

1 . 浅香佳子 (大阪外国語大学・同志社大学非常勤): 『鳥の議会』における庭の解釈

司会 二村宏江

2 . 水谷洋一 (賢明女子学院短期大学): ME ロマンスにおける *GAN* の用法

司会 三浦常司

3 . 田尻雅士 (大阪外国語大学): *The Canterbury Tales* 諸写本に見られる語順の異同について

司会 三浦常司

報告

下笠徳次 (山口女子大): 「新チヨーサー学会」第6回大会報告

特別講演

Judith M. Newton (Kwansei Gakuin University): “Kynaston’s Chaucer: The Last Books of *Troilus*”

司会 Cornelia Hijiya

第6回西支部例会 (1990年4月28日、神戸市外国語大学)

研究発表

1. 中村真由美 (プール学院短大): 「目的格属格」について  
司会 斉藤朋子
2. 菅野正彦 (愛知教育大学): Chaucer の反復語“unkynd”を中心に  
司会 斉藤朋子

招待発表

John C. De Shazo (神戸外大): “SHAKESPEARE’S CRESSIDA”

司会 西川 誠

特別講演

黒瀬 保 (西南学院大): 「運命の寓意研究 視点と問題点」

司会 原田東雄

第7回西支部例会 (1991年4月27日、西南学院大学)

研究発表 第一室 (OE)

1. 綾野誠紀 (福岡女学院大学): 古英語クリオール化仮説をめぐって  
司会 真鍋和瑞
2. 吉村耕治 (関西外国語短期大学): 古期英語詩の説明的色彩表現  
司会 真鍋和瑞

研究発表 第二室 (ME)

1. 壬生正博 (西南学院大学大学院生): 中世におけるオリエントの神秘について *Manderville’s Travels* を中心に

司会 田島松二

研究発表 第二室 (ME)

1 . 出本文信 (海上保安大学校): Subordinate Clauses in *The Owl and the Nightingale*

司会 篠田義博

2 . 広田恵美 (西南学院大学大学院生): Norfolk での分析にみる, ME 方言研究における言語内的・言語外的要素の関連

司会 篠田義博

#### 特別講演

高橋 久 (広島大学): 私の Havelok 研究

司会 菅野正彦

第8回西支部例会 (1992年6月6日、広島女学院大学)

#### 研究発表

1 . 福井洋子 (大谷女子短期大学): *The Knight's Tale* の構造と登場人物について

司会 二村宏江

2 . 中尾佳行 (山口大学): 'As he/she that...' の意味と用法

司会 松本博之

3 . 篠田義博 (広島女学院大学): 脚韻詩 *Cursor Mundi* (Cotton Vespasian A. iii, British Library) に於ける頭韻の使用について

司会 松本博之

#### 特別講演

齋藤 勇 (同志社大学): *Nemo sine crimine vivit* 中世文学における生と孤独

司会 菅野正彦

第9回西支部例会 (1993年6月5日、中京大学名古屋学舎)

#### 研究発表 第一室

1 . 石野はるみ (大阪国際女子短期大学): パースの女房と Natura

司会 杉山隆一

2 . 吉村耕治 (関西外国語大学短大部): Malory's *Morte Darthur* における色彩表現

司会 杉山隆一

3 . 松本博之 (岐阜大学): Sense or Sound in ME Alliterative Poetry? 特に *Wale* を中心に

司会 篠田義博

4 . 伊藤忠夫 (中京大学): 中世英語語順変化論管見 Stockwell-Minkova 論文の紹介を中心に

司会 篠田義博

研究発表 第二室

1. 酒見紀成 (広島工業大学): Chaucer の *Troilus and Criseyde* のテキストについて

司会 中尾祐治

2. 西村政人 (豊橋技術科学大学): *Troilus and Criseyde* と *Il Filostrato* の脚韻比較研究

司会 中尾祐治

3. 下笠徳次 (山口女子大学): *Lybeaus Desconus* の脚韻語について

司会 佐々木富美雄

4. 松沢絵里 (大阪芸術大学): *Kyng Alisaunder* の脚韻語の音質と音量について

司会 佐々木富美雄

特別講演

須藤 淳 (神戸市外国語大学): チョーサーの英語といわゆる spurious passages

司会 原田東雄

第10回西支部例会 (1994年6月4日、京都産業大学)

研究発表

1. 有村安生 (九州共立大学): *The Tale of Melibee* の研究

司会 中尾佳行

2. 横山茂樹 (京都産業大学): *Patience* におけるヨナ像について

司会 秋篠憲一

3. 池上 昌 (慶応大学): “The Great Vowel Shift”のはしり: *Sir Ferumbras* (c1380) のライムから

司会 杉山隆一

特別講演

関本榮一 (前 鶴見大学教授): 『ダンバーの詩』

司会 岩本 忠

第11回西支部例会 (1995年6月3日、大阪大学言語文化研究科)

研究発表

1. 吉川史子 (大阪大学院生): 14世紀英語宗教散文の語順に関する考察 機能文法視点から

司会 杉山隆一

2. 山口恵里子(神戸大学非常勤): *The Canterbury Tales* にみる中世の身体意識 服飾との関連をふまえて

司会 中尾佳行

3. 浅香佳子(大阪国際女子大学): 'Idle waster' と friars: *Piers Plowman* から宗教改革まで *PP* の MSS Annotations と Lollards' authors をてがかりに

司会 秋篠憲一

#### 特別講演

菅野正彦(愛知教育大学): チョーサーの言葉

司会 海老久人

第12回西支部例会 (1996年6月8日、大阪大学言語文化研究科)

#### シンポジウム

1. *The Owl and the Nightingale* 再読 写本・校訂本・語彙・諺

(Between Manuscripts and Editions: *The Owl and the Nightingale*)

司会・講師 John Scahill (成蹊大学)

講師 渡辺秀樹(大阪大学)

講師 西成田道夫(新潟産業大学)

講師 大宮広一(駿台予備校)

#### 特別講演

鶴岡真弓(立命館大学教授): 中世写本装飾芸術にみるケルト的「視覚」

司会 池上忠弘

第13回西支部例会 (1997年6月14日、帝塚山短期大学)

#### 研究発表

1. 田尻雅士(大阪外国語大学): *Sir Orfeo* in MS. Ashmole 61: One Foot in the Tail-rhyme World?

司会 松原良治

2. 新居明子(同志社大学大学院生): ガウェイン詩人のキリスト教的倫理観 *Sir Gawain and the Green Knight* におけるロマンスのパターンからの逸脱を中心に

司会 松本博之

3. 遠藤裕昭(大阪大学大学院生): 電子テキストでの音韻史研究 *Confessio Amantis* を中心に

司会 池上 昌

4. 松沢絵里(大阪芸術大学): *Kyng Alisaunder* の脚韻語の分析

司会 山本 勉

## 特別講演

今井光規 (大阪大学): コーパス言語学と英語史研究

司会 中尾佳行

## 第 14 回西支部例会 (1998 年 6 月 13 日、神戸女子大学)

## 研究発表

1. 長谷川和子 (大手前女子短期大学): *Pearl* における文学的技法の普遍性について

司会 齋藤 勇

2. 中野 好 (岩手医科大学): 写本の句読点について Katherine Group 写本を中心に

司会 和田葉子

3. 玉木雄三 (堺女子短期大学): *OED* と Thomas Malory の英語

司会 向井 毅

4. 西村公正 (関西外国語大学短期大学部): The *OED* (Dictionary of Old English) Corpus の利用 古英語テキストの包括的コーパスを KWIC コンコーダンサーで検索するために

司会 今井光規

## 特別講演

原田東雄 (広島修道大学): *The Book of the Duchess* における「若き騎士」について

司会 菅野正彦

## 第 15 回西支部例会 (1999 年 6 月 12 日、神戸大学瀧川記念学術交流会館)

## 研究発表

1. 井上典子 (京都大学大学院生): 頭韻詩 *Cleanness* に見られる韻律補償 (Metrical Compensation) の技法

司会 横山茂樹

2. 上利 学 (広島文教女子大学): マロリーにおける *body* と *corpse* について

司会 中尾祐治

3. 渡辺秀樹 (大阪大学): 古英詩における *þæt wæs god cyning* 型の構文の特殊用法

司会 西村公正

4. 新居明子 (同志社大学大学院生): 葛藤する主人公たち: *The Wedding of Sir Gawain and Dame Ragnell* における Arthur, Gawain, Ragnell を中心に

司会 水谷洋一

5. 有村安生 (九州共立大学): Caxton の *The Game of Chess* について

司会 向井 毅

第 16 回西支部例会 (2000 年 6 月 10 日、大手前大学西宮キャンパス)

研究発表

1. 近藤未奈(大阪外国語大学大学院生): *Sir Gawain and the Green Knight* の写本・校訂本をめぐって

司会 田口まゆみ

2. 松沢絵里(大阪芸術大学短期大学部): OE /y, y-, y:/, ON /y, y:/を語源にもつ単語の *Kyng Alisaunder* での音価推定

司会 池上 昌

3. 山村誠治(関西外国語大学大学院生): 古英語および中英語散文作品における語順について 語順の観点から

司会 真鍋 和瑞

4. 大野次征(宇部工業高等専門学校): 後期古英語の再帰代名詞 特に *Ælfric's Lives of Saints* を中心に

司会 真鍋和瑞

特別講演

中尾祐治(東海女子大学): Bonnie Wheeler, ed. *The Malory Debate: Essays on the Texts of Le Morte Darthur* (Cambridge: D.S. Brewer, 2000)で展開されているテキスト論争をめぐって

司会 向井 毅

第 17 回西支部例会 (2001 年 6 月 16 日、京都外国語大学)

研究発表

1. 入学直哉(大阪短期大学): white の概念 OE から ME へ

司会 渡辺秀樹

2. 壬生正博(福井工業高等専門学校): *St. Patrick's Purgatory (OMI)* の“red gold”の語釈による楽園の心象について

司会 隈本貞広

3. 大野英志(倉敷芸術科学大学): Chaucer における義務・必要を表す動詞について

司会 松原良治

4. 吉村耕治(関西外国語大学短期大学部): Chaucer も共感覚表現を用いていた?!

司会 伊藤栄子

5. 石坂 恒(関西大学): チョーサーの作品における会話体について

司会 海老久人

6. 横山茂樹(京都産業大学):『サー・ガウエインと緑の騎士』世にでる 1839  
年秋のマッデンとラング

司会 水鳥喜喬

第18回西支部例会 (2002年6月15日、京都産業大学)

研究発表

1. 平山直樹(広島大学大学院生):『パストン家書簡集』における Subjunctive  
Mood 主観性の度合いに着目して

司会 柳 さよ

2. 澤田真由美(広島大学):チョーサーの作品における不定詞補文 directive  
verbs を中心に

司会 金山 崇

3. 西村政人(豊橋技術科学大学): *Troilus and Criseyde* の韻律と韻律辞典

司会 田尻雅士

4. 浅香佳子(大阪国際大学): *Mum and the Sothsegger* の表現と truth-telling に  
ついて

司会 中尾佳行

5. 石野はるみ(大阪国際女子大学):チョーサーの詩作への探索と世界創造  
神話 『誉れの館』についての一考察

司会 中尾佳行

第19回西支部例会 (2003年6月14日、山口県立大学)

研究発表

1. 近藤未奈(大阪外国語大学大学院):テキスト・解釈決定の観点から考察  
する中世英文学作品刊本研究 中英語頭韻詩 *Pearl* における試み

司会 向井 毅

2. 酒見紀成(広島工業大学): *Auchinleck* 写本の否定辞 *no* について

司会 向井 毅

3. 井野崎千代子(神戸海星女子学院大学非常勤): *Ancrene Wisse* に見られる  
ユダヤ人の言及に関する一考察

司会 和田葉子

4. 山本 勉(愛知教育大学): *Havelok the Dane* の語りの技巧

司会 中尾佳行

5. 菅野正彦(愛知学泉大学): 'pleine' と Gower の「修辞学」

司会 中尾佳行

第20回西支部例会 (2004年6月12日、京都産業大学)

研究発表

1 . 鈴木哲治 (早稲田大学大学院): *Sir Gawain and the Green Knight* の wheel 行における語順

司会 横山茂樹

2 . 田中敦子 (岐阜県立加茂農林高等学校常勤講師): *Laamon's Brut* の写本 MS. Cotton Caligula A. ix における文法的性消失 名詞に呼応する人称代名詞 *hine, hire* の考察

司会 松本博之

3 . 春田節子 (白百合女子大学): 「壁を越える人、越えない人」 Chaucer の *Troilus and Criseyde*」

司会 須藤 淳

## シンポジウム

1 . Ricardian Poets の言語

司会・講師 下笠徳次 (山口県立大学)

講師 菅野正彦 (愛知学泉大学)

講師 松下知紀 (専修大学)

講師 中尾佳行 (広島大学)

## 日本中世英語英文学会西支部例会 第 21 回～30 回

## 第 21 回西支部例会 (2005 年 6 月 18 日、福岡女子大学)

## 研究発表

1. 大野次征 (宇部工業高等専門学校教授) : 後期古英語の受動態における人称性 (人称か非人称か) について—とくに *Ælfric's Lives of Saints* をもとに  
司会 柳 さよ (福岡大学教授)
2. 奥村 謙 (富山大学教授) : *Gonville and Caius College, MS 107/176* に見られる *Guy of Warwick* のテキストについて  
司会 中尾佳行 (広島大学教授)
3. 平山直樹 (広島大学大学院) : 『パストン家書簡集』における認識動詞  
司会 隈元貞広 (熊本大学教授)

## 特別講演

- 野口俊一 (大阪教育大学名誉教授)  
コミュニケーションとしてのマロリー  
司会 中尾祐治 (中部大学特任教授)

## 第 22 回西支部例会 (2006 年 6 月 10 日、大阪商業大学)

## 研究発表

1. 田村水幸 (北九州市立大学非常勤講師) : *York Plays* の副詞節内における法  
司会 溝端清一 (近畿大学教授)
2. 相田周一 (大阪府立大学講師) : 英語のウィクリフ派説教集における関係詞構文  
司会 田口まゆみ (大阪産業大学教授)
3. 吉村耕治 (関西外国語大学短期大学部教授) : 古英語と中英語の色彩表現の諸特徴  
司会 中尾佳行 (広島大学教授)

## 特別研究

- 忍足欣四郎 (東京都立大学名誉教授) : *Beowulf* は *incest* の罪を犯したか  
司会 苅部恒徳 (新潟国際情報大学特任教授)

## 第 23 回 西 支 部 例 会 (2007 年 6 月 9 日、姫路獨協大学)

## 研究発表

1. 田中敦子 (広島大学大学院生) : *Ancrene Wisse* の写本 Corpus Christi College における文法的性の消失—歴史的男性・女性の無生名詞に呼応する人称代名詞をめぐって—  
司会 池上恵子 (大東文化大学教授)
2. 森ユキエ (同志社大学大学院生) : 空を飛ぶものと地を這うもの—マロリー『アーサー王の死』における夢から  
司会 向井 毅 (福岡女子大学教授)

## シンポジウム Danelaw 地域—再考—

- 司会・総論 藤井香子 (大阪学院大学講師)
- 講師 小竹 直 (慶応義塾大学大学院生)
- 講師 伊藤 壺 (杏林大学准教授)
- 講師 小澤 実 (東京大学大学院生・西洋史学)
- 講師 藤井香子 (大阪学院大学講師)

## 第 24 回 西 支 部 例 会 (2008 年 6 月 14 日、関西外国語大学)

## 研究発表

1. Gregory K. Jember (佐賀大学教授) : *Cefi, Materialism, and the Conversion of King Edwin*  
司会 藤井香子 (大阪学院大学講師)
2. 井野崎千代子 (近畿大学他非常勤講師) : *Ancrene Wisse, Part 1* におけるラテン語引用について—Corpus 写本と Cleopatra 写本の比較から audience に関して何が言えるか—  
司会 藤井香子 (大阪学院大学講師)
3. 河村美智子 (梅花高等学校非常勤講師) : *How the Green Man Came to Disgorge Foliage*  
司会 海老久人 (神戸女子大学教授)
4. 小宮真樹子 (同志社大学大学院生) : “How vndirstande am I?” —メタフィクションとしてのホックリーヴの *Series*—  
司会 田口まゆみ (大阪産業大学教授)

## シンポジウム Chaucer の愛のテーマと五感の表現—その感覚表現の特徴—

- 司会・総論 吉村耕治 (関西外国語大学短期大学部教授)
- 講師 海老久人 (神戸女子大学教授)
- 講師 地村彰之 (広島大学教授)
- 講師 笹本長敬 (大阪商業大学教授)
- 講師 吉村耕治 (関西外国語大学短期大学部教授)

## 第 25 回 西 支 部 例 会 (2009 年 6 月 13 日、関西大学)

## 研究発表

1. 鈴木保子 (関西外国語大学准教授) : 古英語ベオウルフ 2717b *seah on enta geweorc* の定動詞頭韻について  
司会 尾崎久男 (大阪大学准教授)
2. 井野崎千代子 (近畿大学非常勤講師) : *Ancrene Wisse, Part 1* におけるラテン語引用の *secularization* の兆し—6 写本の *Pater noster, Credo, Ave* を比較することから—  
司会 村長祥子 (福岡女子大学准教授)
3. 多ヶ谷有子 (関東学院大学教授) : 中世キリスト教と仏教における地獄の恐怖—絵と言葉を通して—  
司会 吉村耕治 (関西外国語大学短大部教授)

## 講演

- 講演 1 斎藤 勇 (同志社大学名誉教授) : 本気と冗談—真面目なジョーサーを追う—  
司会 地村彰之 (広島大学教授)
- 講演 2 Patrick O'Neill (ノースカロライナ大学教授) : *Bede and the English Language*  
司会 和田葉子 (関西大学教授)

## 第 26 回 西 支 部 例 会 (2010 年 6 月 12 日、関西外国語大学)

## 研究発表

1. Simona Alias (PhD Student at Trento University, Italy) : An Interpretation of Chaucer's speaking animals in the *Parliament of Fowls*  
司会 浅香佳子 (大阪国際大学教授)
2. 小宮真樹子 (同志社大学非常勤講師) : “The Fair Unknown” と “the Poor Well-known” —Malory における Gareth と Balin—  
司会 秋篠憲一 (同志社大学教授)
3. 浅香佳子 (大阪国際大学教授) : 異教徒トロイラスの “the lawe of kynde” と “ex puris naturalibus”  
司会 石坂 恒 (関西大学教授)

## 講演

- 講演 1 菊池清明 (立教大学教授) : ジョーサーとガウェイン詩人の言語観—「荘園管理人の話」と『ガウェイン卿と緑の騎士』を中心に—  
司会 吉村耕治 (関西外国語大学短大部教授)
- 講演 2 松本博之 (元豊田工業大学教授) : *The Destruction of Troy: A Critical Edition* の編纂を終えて  
司会 笹本長敬 (大阪商業大学教授)

## 第 27 回 西 支 部 例 会 (2011 年 6 月 11 日、大阪商業大学)

## 研究発表

1. 西村政人 (豊橋技術科学大学教授) : *Amor Perfetto* について—*Il Filostrato* と *Troilus and Criseyde* を中心に—  
司会 大野英志 (倉敷芸術科学大学准教授)
2. 井野崎千代子 (近畿大学・大阪産業大学、非常勤講師) : *Ancrene Wisse* 九つの写本における告解の効力に関する *theological conflict* の表れ  
司会 和田葉子 (関西大学教授)
3. 多ヶ谷有子 (関東学院大学教授) : *Pearl* および日本仏教における死後の幼児の運命について  
司会 秋篠憲一 (同志社大学教授)

## 特別講演

- 朝倉文市 (ノートルダム清心女子大学名誉教授) : C.S. ルイスと J.R. トールキンの世界—詩と史の世界—  
司会 笹本長敬 (大阪商業大学教授)

## 第 28 回 西 支 部 例 会 (2012 年 6 月 9 日、同志社大学 (今出川キャンパス))

## 研究発表

1. 花岡 慧 (京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程) : 古英語における数表現の一考察—数量詞を伴う分析的表現を中心に—  
司会 西村秀夫 (三重大大学教授)
2. 高森理絵 (大阪大学大学院言語文化研究科博士後期課程) : *Beowulf* における *wylm* と共起する規定詞の特徴と意味カテゴリ  
司会 松沢絵里 (大阪芸術大学短期大学部教授)
3. 壬生正博 (福岡歯科大学教授) : 夢幻視物語におけるパラダイス描写の視点について  
司会 浅香佳子 (関西大学非常勤講師)
4. 大野英志 (倉敷芸術科学大学准教授) : *The Summoner's Tale*, 2204 行目の *think* について  
司会 笹本長敬 (大阪商業大学教授)

## 特別講演

- キム・ヒョンジン (ソウル大学准教授) : *The Sword in the Middle: The Iconography of Courtly Love in the Arthurian Romance*  
司会 中尾佳行 (広島大学教授)

第 29 回 西 支 部 例 会 (2013 年 6 月 8 日、大阪大学 (豊中キャンパス))

研究発表

1. 井野崎千代子 (大阪産業大学非常勤講師、近畿大学非常勤講師) : *Ancrene Wisse, Corpus* 写本における *conscience* の導入表現と受容について  
司会 池上恵子 (成城大学短期大学部名誉教授)
2. 松沢絵里 (大阪芸術大学短期大学部教授) : 14 世紀初期の脚韻詩 *Kyng Alisaunder* における DO と GIN の用法  
司会 西村政人 (豊橋技術科学大学教授)

特別講演

- Patrick P. O'Neill (The University of North Carolina at Chapel Hill): How to administer a late-14<sup>th</sup> century monastic library: the case of Dover Priory  
司会 中尾佳行 (広島大学教授)

東西支部第 30 周年記念合同研究発表会 (2014 年 6 月 14 日、青山学院大学)

研究発表

1. 三浦あゆみ (関西外国語大学) : *He/She this in Middle English: Reassessing Latin influence*  
司会 堀口和久
2. 岡田 晃 (小山工業高等専門学校) : 否定接頭辞 *in- / un-* 付加派生語の歴史的考察—中英語期から現代英語にかけて—  
司会 鎌田幸雄
3. 杉藤久志 (上智大学一般外国語センター非常勤講師) : *ホックリーヴ* についての法と社会  
司会 片見彰夫
4. 足立峻一 (駒澤大学大学院) : *John Lydgate The Temple of Glas—3* 写本における悩める女性の性格の変化—  
司会 福田一貴
5. 高森理絵 (大阪大学大学院) : 中英語詩における *wallen* と *wellen* が表す概念メタファーについて  
司会 大野英志
6. 貝塚泰幸 (首都大学東京・千葉商科大学非常勤講師) : *Naples* 写本における *Libious Disconious*  
司会 辺見葉子
7. 渡辺直子 (関東学院大学非常勤講師) : *Pearl* における宝石商の転換点—天国への道—  
司会 守屋靖代

8. 濱田里美 (立教大学大学院) : 『カンタベリー物語』における中世後期の orality と literacy  
の混在—「トパス 卿の話」再考—  
司会 宅間雅哉

#### COLLOQUIUM

“Translating Psalms into Old English Verse: Practice and Theories” chaired by Kazuyoshi Yamanouchi  
(Emeritus Professor and Specially Appointed Professor at Tokyo Metropolitan University)

Patrick O’Neill (University of North Carolina): Translation in practice: Old English versions of the  
Latin Psalms

Haruko Momma (New York University): Translation theory and the Old English Psalms

Kazuyoshi Yamanouchi (Emeritus Professor and Specially Appointed Professor at Tokyo  
Metropolitan University): From Latin Psalter to Vernacular Psalter: the Old English  
Interlinear Gloss of the Lambeth Psalter